

## 令和2年度 地方創生推進交付金事業 効果検証シート

事業名	霧島ガストロノミーと地域商社で興す「食」のムーブメント事業
担当部局課名	商工観光部観光PR課

## 1. 事業概要等

事業を企画した目的及び事業の概要	<p>市内産学官で組織する「霧島ガストロノミー推進協議会」が実施主体となり、霧島ガストロノミーの理念である「きりしま食の道10か条」に基づき、本市の恵まれた地域産品を活かした六次産業化やブランド化の推進、市場のニーズにあった新製品の開発・提供、話題性のある効果的なPR等を実施し、農林水産物の付加価値向上に伴う「採算性（稼ぐ力）」の向上や農林水産業、サービス業の後継者・担い手の確保につなげることで、地域経済の活性化や交流人口の拡大を図ることを目的にしています。</p> <p>令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、地域経済を取り巻く環境は厳しい状況となりましたが、コロナ禍に対応した形で、霧島ガストロノミーブランド「ゲンセン霧島」認定制度を中心とした各種事業を継続実施することで、更なる霧島の「食」ブランド価値向上及び認知度向上に取り組んできました。</p> <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○戦略的な情報発信</li> <li>○霧島産品を活用した六次産業化、ブランド化の推進</li> <li>○マーケットを意識したメニュー開発</li> </ul>		
交付額	4,675,000 円	交付対象事業費	10,783,355 円
事業始期年月	令和2年4月1日	事業終期年月	令和3年3月31日
霧島市ふるさと創生総合戦略との関係性	<p>基本目標 Ⅲ 働きたいまち</p> <p>関連施策 Ⅲ-②「強い」農林水産業の育成、「稼ぐ」農林水産業の創造</p>		

## 2. 本事業における重要業績評価指標（KPI）

設定した目標値の根拠	<p>霧島ガストロノミー推進協議会は、商工業、農業団体、生産者、大学、行政機関などで構成しており、これらの政策連携による販売実績を具体的に数値化し、評価・検証することで、本事業の成果を明確にするものです。</p> <p>①本事業を通じて開発・生産された産品やブランド認定品の販売実績は、本事業の成果として最もわかりやすい指標である。（アウトカム）</p> <p>②本事業を通じて開発・生産された産品やブランド認定品を取扱う事業者の件数は、本事業の成果を一定数測ることができる指標である。（アウトカム）</p> <p>③ブランド認定数は、本事業の活動量を一定数測ることができる指標である。（アウトプット）</p> <p>④ブランド認定応募数は、本事業の活動量を一定数測ることができる指標である。（アウトプット）</p>						
指標	達成状況	H30実績値	R 1 実績値	R 2 実績値	合計	目標値（累計）	
KPI①	本事業を通じて開発・生産された産品及びブランド認定品の売上高・出荷額	達成	1,467,279	450,402,486	58,577,120	510,446,885	33,100,000
KPI②	本事業を通じて開発・生産された産品及びブランド認定品の新規顧客契約件数	達成	30	50	7	87	18
KPI③	ブランド認定数	達成	38	10	13	61	48
KPI④	ブランド認定応募数	未達成	41	11	16	68	90

### 3. 本事業の地方創生への効果

事業効果
地方創生に効果があった

【凡例：選択肢】

①	地方創生に非常に効果的であった	例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②	地方創生に相当程度効果があった	例：一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③	地方創生に効果があった	例：KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④	地方創生に対して効果がなかった	例：KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合

### 4. 実績値を踏まえた今後の事業展開の方針

今後の事業展開の方針	対象事業が総合戦略の推進に及ぼした影響及び今後の事業展開方針の理由
事業の継続	<p>平成30年度から3年間で、本市における「食」を中心としたムーブメントを起こし、一時的な流行やブームでは終わらない、市民や事業者の価値観・ライフスタイルが変化する程の継続的な事業を目指し、各種取組を展開してきたことで、本事業における基礎的な土台が確立されたことから、引き続き、本市の魅力ある「食」にまつわる地域資源を活かした事業を市内産学官の各種団体が連携して展開し、地域経済の活性化や交流人口の拡大を図っていきます。</p> <p>また、令和3年5月に本市、霧島ガストロノミー推進協議会及び(株)無垢（市内民間事業者）の3者で締結した「霧島市の観光・物産の振興に関するパートナーシップ協定」に基づく各種連携事業を展開し、ブランド認定品をはじめとする魅力ある地域産品を活用した消費を喚起させる取組の実施や市内外への情報発信をはじめとする各種取組について、コロナ禍におけるこれからの社会情勢を見据えた事業を展開していきます。</p>

【凡例：選択肢】

①	事業の継続（計画通りに事業を継続する）
②	事業の発展（事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる）
③	事業の改善（事業の効果が不十分であったことから見直し（改善）を行う（または、行った））
④	事業の中止（継続的な事業実施を予定していたが中止する（または、した））
⑤	事業の終了（当初予定通り事業を終了する（または、した））